実績報告書

事業名：海洋環境国際シンポジウム みんなの海 国際会議 Vol. 2

【事業概要】

1. 目的：

世界海洋プラスチックプランニングセンター（愛称：PLA PLA）の開業を前に、国際的にも、プラスチック汚染に関する条約策定の動きがあるこのタイミングで、海洋プラスチック問題の現状や佐賀県の取組を世界に発信し、海洋プラスチックのない豊かで美しい海を取り戻すため、PLA PLA の可能性や様々な分野の方々との連携方策を探る国際シンポジウムを開催。

2. 日時:

令和 7 年 10 月 20 日（月曜日）、21 日（火曜日）

■20 日（月曜日）　10 時 00 分～12 時 00 分　現地視察
14 時 00 分～17 時 00 分　基調講演、クロストーク
17 時 30 分～19 時 00 分　レセプション

■21 日（火曜日）　9 時 40 分～17 時 00 分　シンポジウム

場所：唐津シーサイドホテル、波戸岬海浜公園

参加者：

国際シンポジウム（１日目）１４０名、（２日目）　１４９名

（国内外の研究者、政府関係者、国際機関、国内の行政関係者、企業関係者
地元関係者（唐津市、玄海町、地元 NPO、地元ならびに近県の中高大学校生）等）

主催：佐賀県

後援：外務省、環境省

協力：唐津市、玄海町、公益財団法人笹川平和財団（海洋政策研究所）

協賛：ANA 佐賀支店、ウォータースタンド株式会社、株式会社大原老舗、唐津玄海地区水産物消費拡大協議会、小松酒造株式会社、鳴滝酒造株式会社、パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社、buoy 株式会社、宮島醤油株式会社（五十音順）

3. 内容:

■20 日（月曜日）

・現地視察　　場所：波戸岬海浜公園

・基調講演

・クロストーク：海洋プラスチック問題の解決に向けて

■21 日（火曜日）

・シンポジウム

session 1. 海洋プラスチックの生物への影響、センターに期待すること

session 2. 海洋プラスチックの再生、大学等研究機関との連携

session 3. 体験、行動変容と市民活動の促進

session 4. 海洋教育と PLAPLA



（１日目）

【現地視察】

佐賀県が 2026 年 6 月に開業を予定している「世界海洋プラスチックプランニングセンター（愛称 PLAPLA）」の建設予定地にて、センターの概要や唐津・玄海エリアの漂着の状況などについて説明しました。

その後、波戸岬の美しい景色を楽しみながらビーチクリーンを行い、唐津・玄海エリアの漂着の状況を実際に確かめていただくとともに、改めて、共に海洋プラスチック問題に取り組んでいこうという想いを共有しました。





【開会】



主催者を代表して、佐賀県 県民環境部　諸岡泰輔部長からのあいさつで開会しました。１日目の司会進行は、佐賀県唐津市の早稲田佐賀高等学校の放送部の皆さんが務めました。

【基調講演】

基調講演として、以下のお三方から世界的な海洋プラスチック問題の最新の動向や各国の取り組みなど、貴重なお話を伺いました。

１）ユネスコ政府間海洋学委員会議長　道田　豊　様
「海洋プラスチック汚染の何が問題なのか」

２）環境省 水・大気環境局 海洋環境課
　　海洋プラスチック汚染対策室長　中山　直樹　様
「プラスチック汚染対策に関する国際動向と環境省の取組」

３）国連環境計画　UNEP　生態系局　海洋淡水課
　　プログラムマネジメントオフィサー　竹内　奈穂　様
「UNEP(ユネップ)海洋ごみに関するグローバル・パートナーシップとグローバル・プラスチック・ハブ」について、(WEB 参加)

【クロストーク】　海洋プラスチック問題の解決に向けて



在福岡タイ王国総領事館　総領事　ゴーソン・サティタマジット　様
在福岡インド総領事館　　総領事　ラムクマール・シー　様
駐日フィンランド大使館　一等書記官　マッティ・カルヴァネン　様
NHK エンタープライズ　堅達　京子　様　※コーディネーター
佐賀県知事　山口祥義　様

【レセプション】

「羽衣」の間において、レセプションが開催されました。シンポジウムへの参加者と登壇者の皆様、学生の皆様にもご集積いただき、有意義な交流と意見交換が行われました。

レセプションの間に、「一般社団法人 イドベタ」様より、海洋プラスチックのアップサイクル活動をまとめた動画を紹介していただきました

料理とともに、小松酒造株式会社様、鳴滝酒造株式会社様からご提供いただいた日本酒を楽しんでいただきました。





（２日目）

【シンポジウム】

第２回目となる今回は、「プラプラ」を核として、唐津・玄海エリアの現状や佐賀県の取組を世界に向けて発信するとともに、「プラプラ」の可能性や様々な分野との連携方策を探り、国内外の皆様と解決に向けて議論をしていくことを目的としたプログラムを提供させていただきました。オープニングトークと４つのセッションを設け、それぞれのテーマに沿った取組のご報告やパネルディスカッションを通して、海洋プラスチックへの理解を深めていただきました。

２日目の司会進行は、唐津西高校、唐津青翔高校の皆さんが務めました。

＜オープニング＞【みんな参加型の循環型社会】

株式会社 JEPLAN 会長　岩元　美智彦　様



＜Session 1 ＞【海洋プラスチックのモニタリング】

・九州大学　磯辺(いそべ)　篤彦(あつひこ)　様　※コーディネーター

・ワーゲニンゲン大学　ティム　ヴァン・エンメリック　様

・海洋研究開発機構 JAMSTEC　中嶋　亮太　様

・九州大学　高原　淳　様





＜Session２＞【マイクロプラスチックの動きと生物への影響】

・九州大学　大嶋雄治　様　※コーディネーター

・早稲田大学　大河内　博様

・前　韓国海洋環境技術院　シム　ウォンジュン　様





＜Session 3 ＞【体験、行動変容と市民活動の促進】

・九州大学　清野　聡子　様　※コーディネーター

・近畿大学　村松　秀　様

・ビジネスフィンランド　サンポ　トゥキアイネン　様

・一般社団法人対馬 CAPPA　末永　通尚　様





＜Session 4 ＞【海洋教育とプラプラ】
・笹川(ささかわ)平和財団　小原　朋尚　様
・佐賀大学農学部　亀井　裕介　様・
①福岡県立城南高等学校の皆様
②早稲田佐賀高校の皆様
③早稲田佐賀中学校の皆様
④熊本市立西原中学校の皆様
⑤唐津青翔高等学校の皆様
⑥ハーバースクール香港の皆様（Web での参加）



【会場の様子】

会場では、今回の海洋環境国際シンポジウムにご協賛等をいただいた企業・団体様からの御協力のもと、佐賀県ならではのおもてなしを行いました。また、地元の高校生の活動としてプラスチックリサイクルの体験も実施されました。



（佐賀県産のお茶の提供）



（早稲田佐賀のサスティナ部活動発表ブース）



（イドベタ　様）



（宮島醤油株式会社　様）



（唐津玄海地区水産物消費拡大協議会　様）



（株式会社大原老舗　様）

【閉会のあいさつ】
佐賀県 県民環境部 脱炭素社会　　宮原浩二　推進総括監からの挨拶で締めくくらせていただきました。

